



特定秘密保護法の問題点を指摘する海渡雄一弁護士＝高岡市で

秘密保護法問題点 海渡弁護士が講演

19/20 北中 富山と高岡で

日弁連秘密保全法制対策本部副本部長の海渡雄一弁護士を招き、十二月に施行される特定秘密保護法の問題点を考える講演会が十九日、高岡市の高岡商工ビルと、富山市のサンフォルテでそれぞれあった。

高岡市での講演で海渡氏は、東京電力福島第一原発事故で、政府が緊急時迅速放射能影響予測システム（SP EEDI）の情報を住民に知らせなかったこと

などを例に「正確な情報が市民に与えられないと判断を間違っ」と情報公開を前提に根本的に法を見直す必要性を強調した。

特定秘密保護法の問題点に、秘密指定の分野が幅広く各機関が恣意的に秘密指定される▽違法な秘密指定や政府の腐敗、大規模汚染などの事実の秘密指定を禁止することが明文化されていない▽秘密指定された情報が永久に公開されない可能性がある一などを列挙。秘密指定をチェックする独立文書管理監についても「身内の官僚で組織され、とても第三者機関とはいえない」と批判した。

反戦訴え行進

19/20 北中 富山と運動センター

県平和運動センターは「国際反戦デー」の21日、富山市のCICビル前で県民集会を開き、集团的自衛権の行使容認阻止や憲法改悪反対などを訴えた。

冒頭、同センターの山崎彰議長が「日本が戦争をする国にならないよう行動を起こそう」と強調。岡崎信也社民党県連合副代表があいさつし、集会アピールが採択された。JR富山駅周辺でデモ行進も行った。

反戦訴え200人行進

19/20 北中 富山で県平和運動センター

県平和運動センター（山崎彰議長）の国際反戦デー県民集会は21日、富山市のCIC前広場で開かれた。同センター加盟団体の約200人がデ

・動員協力に感謝！！
・引き続き下記行事に協力をお願いします



モ行進を行い、平和の実現を訴えた。

国際反戦デーは、1966年10月21日に労働組合が行ったベトナム反戦ストライキを機に始まった。集会で山崎議長があいさつし、岡崎信也社民党県連合副代表らが激励。「核も基地も原発もない平和で安心して暮らせる社会を実現する」などとした集会アピールを採択した。集会後、参加者はシュプレヒコールを上げながらJR富山駅前をデモ行進した。

・沖縄連帯「標的の村」上映会

- 富山会場 10月27日（月）18：30～ボルファート4F
- 高岡会場 10月28日（火）18：30～ウイングウイング高岡503
- 新川会場 10月29日（水）18：30～ミラージュホール
- 砺波会場 10月30日（木）18：30～福野ヘリオス

・10月31日（金）第16回富山県平和運動センター定期総会
15：00～自治労会館